

80周年記念事業

DAIKENグループは2025年9月26日に創立80年を迎えます。
この節目を機にさらなる飛躍と挑戦の姿勢を示し、
ステークホルダーの皆様とともに新しい DAIKENとなるべく、
さまざまな施策に取り組んでいきます。



①2035年に向けた経営指標の確立

【次期長期ビジョン「TryAngle 2035」の策定】

『ずっと こちいいね』をキーワードに、DAIKENの2035年までの取り組みや目標を定めました。本ビジョンの策定により、10年後の「ありたい姿」や「目指す方向性」をステークホルダーと共有し、当社の事業方針についての共感度を高めることを目指しています。また、長期ビジョンの推進ドライバーとして「DAIKENサステナビリティ・アクションプラン 2035」をあわせて策定しました。

P.9 次期長期ビジョン「TryAngle 2035」



②コーポレートアイデンティティ再構築によるステークホルダーの好感醸成

【社名・コーポレートメッセージの変更】

ステークホルダーのエンゲージメント向上を目的に、社名およびタグライン（コーポレートメッセージ）を刷新しました。これまで以上にグローバルな展開を進めるとともに、「モノ」から「コト」へ提案価値の転換を推進していきます。

P.1 新社名・コーポレートメッセージ



③人的資本経営を軸とした意識改革

【新人事制度の策定】

次期長期ビジョンに即した新たな人事制度、および人財育成制度の運用を開始します。新たな人財育成の運用は、2025年度より人的資本経営の考え方に基づいた研修などをスタートしており、新人事制度は、2026年度の運用開始を予定しています。

【ユニフォーム刷新】

国内製造部門の工場、および製造部門の関係会社で着用するユニフォームを刷新します。実際に工場で働く従業員の意見を取り入れた、機能的で働きやすいユニフォームデザインへと切り替える予定です。

④新たな商機開発

【新規事業アイデアの公募】

サステナブル社会への貢献とウェルビーイングな空間提供を実現するための新規事業の創出を目指し、社外の方々の柔軟で新しい発想を取り入れるため、「ビジネスアイデアコンテスト」を初開催しました。頂いたアイデアを元に社内にて検証を行い、事業化を検討していきます。



Wemake: ビジネスアイデアを募集するプラットフォーム運営会社

【最先端の音研究施設】

当社の強みである「音」の研究開発力をより一層強化し、あらゆる空間における快適な音環境を提供するため、新たな音響技術の開発設計拠点『音環境ラボラトリー』（愛称:『音ラボ』）を建設中です。11月の稼働開始を予定しています。



『音ラボ』外観イメージ

80周年記念展示会の様子

【周年フェアの開催】

2025年には創立80周年を記念し、展示会「EXPAND THE FUTURE ~DAIKEN TryAngle フェア~」を東京(6/4,5)と大阪(7/9,10)の2会場で開催しました。流通業者や住宅会社、内装工事業者といったお取引のあるお客様・業者様だけでなく、さまざまなステークホルダーの皆様にご来場いただき、節目を祝う貴重な機会となりました。

会場では、80周年を迎えた当社の歩みや企業理念、長期ビジョンを紹介し、『ずっと こちいいね』をテーマに10年後のミライの“空間”“素材”“こちよさ”を体験できるコーナーや他社との共創事例、新製品の展示を行いました。来場されたお客様からは『ずっと こちいいね』の実現に向けた姿勢を実感したとの声が多く寄せられ、今後のお取引や協業への期待が高まったことが確認されました。



DAIKEN TryAngle フェア

ミライの“空間”を考える

10年後の空間のあり方について「暮らす-シェアハウスプラン-」「働く-オフィスプラン-」「集う-公共空間(駅)-」の3空間を表現しました。

ミライの“素材”に挑戦する

創業以来培ってきた素材の力で、未利用資源をアップサイクルした新素材や、生態系の回復など資源循環に着目したミライの技術を紹介しました。

ミライの“こちよさ”を体感する

「音」にフォーカスした新たなソリューション、さらには温度・光・気流などを可視化した五感で感じる快適性を表現しました。



入口の様子



80年の歴史コーナーの様子



ミライの“空間”を考えるコーナーの様子
※展示品はミライのイメージで、実際に発売する製品やサービスではありません。

Voice of Executive

80周年記念事業を契機に、次の10年に向けた関係構築を強化

当社は1945年の創立以来、「三方良し」の精神をもとに社会の変化に対応しながら、日本の森林資源を活用した建材・製材品を提供してきました。

80周年の節目にこれまでの歴史を振り返り、我々の事業の根底には「こちよさ」を皆様にお届けしたいという思いがあったことを再確認し、今年度からコーポレートメッセージを『ずっと こちいいね』に改め、次の10年間の方針である「TryAngle 2035」では、くらしの「こちよさ」と地球環境の「こちよさ」を追求するとともに、海外展開を加速することを目指していきます。

さらに、80周年事業の一環として、9月26日より社名を「DAIKEN株式会社」に変更し、提供価値を「モノ」から「コト」へ転換させる姿勢、さらなるグローバル化を推進する姿を表現していきます。そのほかにも、工場従業員のユニフォーム刷新や、従来の販売コンテストをバージョンアップした「DAIKEN販売コンテスト80」など、新しい試みへの挑戦、変革の姿勢を社内外に披露していく予定です。また、「ミライの可能性を広げる」をテーマに6月・7月に東京・大阪で開催した80周年記念展示会「EXPAND THE FUTURE ~ DAIKEN TryAngle フェア~」は、両会場合

執行役員 CMO
頃安 延幸



せて9,000名近いお客様に来場いただき、盛況のうちに閉幕しました。当社の歴史や今後の事業展開をはじめ、未来の「こちよさ」を支える技術や商材の展示により、長らくお取引のあるお客様は勿論のこと、これまで当社と接点のなかった多様な分野の方々にもご来場いただき、ともにミライに向けて共創していただける関係構築の契機になったと考えています。

DAIKENはこれからも時代の変化に対応し、『ずっと こちいいね』を皆様にお届けしつつけることを目指しております。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。